

区民の皆様へ

三輪地区



第51号

住民自治協議会だより

令和2年12月1日発行

発行者 三輪地区住民自治協議会会長 伊倉 文明
事務局 三輪公民館内 電話 225-9567 FAX 225-9647
E-mail: miwa.jichikyo@theia.ocn.ne.jp
H P: https://www.miwajichikyo.com



コロナに負けない！ 三輪ひまわりプロジェクト

新型コロナウイルスの感染が依然として続く中で、この春以来三輪自治協の事業もその多くが中止等の事態になっています。

そこで、地域住民同士のつながりを大切に、元気なまちづくりを行う自治協として、“コロナで何もできなかった、何もできなかった”ではなく、こんなときだからこそ地域でできることを行い、少しでも元気で安心して暮らせるまちづくりを目指して、10月から『コロナに負けない！三輪ひまわりプロジェクト』を実施しています。

現在までに児童センターなどへのマスクや消毒液の配布や、10月17日(土)に開催した「ひまわり広場」の中で、“テイクアウト広場”や“野菜広場”、“フードドライブ”、“打ち上げ花火”、“ドライブインシアター”を実施しました。【実施状況は別掲】

今後も、コロナ禍であっても自治協としてできることを精一杯やっていますので、ご協力をお願いします。

コロナに負けない！三輪ひまわりプロジェクト

ひまわり広場開催

10月17日(土)、三輪自治協のお祭り「ひまわり広場」を開催しました。コロナの影響で恒例の演芸広場、健康広場、キッズ広場、バザー等は中止させて頂きました。この状況の中でもできることはないかと検討し、『コロナに負けない！三輪ひまわりプロジェクト』の一環として2020特別バージョンを開催しました。

内容は、昼の部として地元のお店の協力を得て、お弁当等のテイクアウト広場、小田切自治協さんの野菜広場、環境美化部会のフードドライブです。あいにくの雨のため急遽、会場を三輪公民館内に移しましたが、予想以上のお客様が来られ、ほぼ完売することができました。ご協力、ありがとうございました。

夜の部は長野県立大の駐車場をお借りして、三輪通り商店会さん主催のドラ

イブインシアターを共催させて頂きました。映画に先立ち、隣の美和公園で相ノ木西区の天神花火さんの協力で、コロナ収束を願い花火を打ち上げさせて頂きました。

何かと制限が多い昨今ですが、少しでも楽しく元気が出る事業をこれからも考えていきたいと思っています。

ご協力頂いた皆様、それぞれの広場で活躍頂いたスタッフに御礼申し上げます。



コロナに負けない！三輪ひまわりプロジェクト

「三輪フードドライブ」へのご協力ありがとうございました

10月17日（土）、『コロナに負けない！三輪ひまわりプロジェクト』の一環として、家庭で余っている食品を寄付していただき、必要としている人へ届ける「三輪フードドライブ」が、同日開催されたひまわり広場の中で行われました。

あいにくの雨の中でしたが、**51人の方から、計362個、総重量103.2kg**の食品を寄付していただきました。

皆様、ご協力をいただきありがとうございました。

なお、ご寄付いただいた食品は、21日（水）に山田環境美化部会長から長野市社会福祉協議会にお渡ししました。

缶詰・瓶詰	68個	飲み物（ペットボトル・インスタントコーヒー等）	39本
インスタント食品（カップ麺等）	84個	お菓子	17個
レトルト食品（カレー・パスタソース等）	47個	粉類	7.2kg
乾麺（そうめん・パスタ等）	17.3kg	乾物（海苔・かつお節等）	12個
調味料（食用油・ドレッシング等）	29個	お米（レトルトご飯含）	26.3kg



皆様からいただいた食品の数々です



長野市社会福祉協議会会長にお渡ししました

コロナに負けない！三輪ひまわりプロジェクト

子ども達に手作りマスクを届けました

副会長 樋口 恵子

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、この春以来三輪自治協での様々な活動も休止となり、事実上の活動停止を余儀なくされました。再開を待たれていた休止の間は、皆さんどうしておられるかしら、コロナ禍でも何かできることはないか、何かしたいと、悶々としていた時期でありました。

依然として感染拡大が続く9月、こんな時だからこそ地域で出来る事をしたい、少しでも元気を取り戻したい、コロナに負けない地域づくりの思いをカタチに！で始まった『コロナに負けない！三輪ひまわりプロジェクト』の一環として、子ども達に手作りマスクを届けようと企画がスタートしました。

9月の回覧で募集を呼びかけましたところ、回覧が回ると同時位にお問合せがあり、数日後にはご持参頂いた方もおり感謝でいっぱいスタートとなりました。

1ヵ月の間に12人の方から253枚のマスクが寄せられました。一つひとつ丁寧に縫われた可愛い柄の小さなマ

スクが並んだ光景は子ども達の笑顔のようで早くお届けしたいと、10月7日（水）手作りマスクと消毒液他を三輪児童センターと三輪プラザの子ども達にお届けしました。

作って下さった方に“とても楽しかった”と言って頂け、マスクを受け取った子ども達が笑顔になることで「コロナに負けないつながり」となっていくことを願っています。

マスク作りは3密を避けるため集まったの作業が出来なく、其々のご家庭で愛用のミシンで作っておられる姿が目につきます。心より感謝申し上げます。

待っている子ども達もおります。マスクは引き続き募集致しますので、よろしくお願い致します。



教育・文化部会

キッズふるさと体験活動「ハロウィンのコラージュ作り」

教育・文化部会長 金井 信幸

10月3日（土）、久しぶりの三輪公民館3階大ホールでのキッズ体験活動は、2年ぶりの開催となるハロウィンコラージュの創作でした。

最近日本国内でもクリスマスに次ぐ宗教的な（？）祭事として浸透しつつあるハロウィン。実はキリスト教の行事ではないそうです。カボチャのお化けをモチーフにしたお決まりのランタンを作る代わりに、はさみと糊を手に、こどもたちはコラージュ作りを楽しみました。

今回は18名のこどもたちと数名の保護者が参加しました。こどもたち自身が独自性と創造性を発揮できるよう、できる限り大人が作業に手を貸さない方針で、こどもたちを見守りました。

講師は前回に引き続き、「サブ・ロサ」主宰の山岸薫先生。目を輝かせながら、山岸先生の指導を仰ぐこどもたちの姿がたいへん印象的でした。ハロウィンにちなんだ小物や紙の材料を板に張り付け、自分好みにデザインし、世界で一つしかない置物または壁飾りを完成させる作業は、参加したこどもたちにとって、新鮮な体験になったことでしょう。

この体験による学びが、こどもたちの日常あるいは将来に向けて大いに役立つことを期待したいと思います。



安全・安心部会

特殊詐欺防止研修会

安全・安心部会長 小林 雄一

9月9日（水）午後7時から三輪公民館3階大ホールで特殊詐欺防止研修会が行われました。

中央警察署からは4名の方が見えられ、講演や特殊詐欺の寸劇をしていただきましたが、分かりやすく、まさに絶妙な手口を見ることができました。

又、三輪・柳町両交番兼務の署長さんに防犯、特に空き巣・盗難の実態を教えていただき、改めて施錠を含め家の防護について認識を新たにしました。

講演では（寸劇も含め）、電話は留守電にしておくこと、オレオレ詐欺は減ったとしても、親子・家族の合言葉を作って防ぐこと、電話でも直接来られても警察関係・役所も個人情報の通知・現金の受け取りはしないことを理解しておくこと、現金（金品）・物品（キャッシュカード）は絶対渡さないこと、もちろん暗証番号も教えないこと、「私は大丈夫」という思いは捨て去り、警察・家族・知人へ相談し一人では悩まないことを学びました。

又、電子マネーについても説明がありました。

今回は、新型コロナウイルスの関係もあり、各地域代表と役員など46人の参加者でしたが、検温、手洗い、窓開け、ソーシャルディスタンスでの席の配置、マスクの着用と感染防止策を十分講じた上での開催となりました。

質疑応答も多く、とても収穫の多い研修会となりました。全ての方に感謝いたします。



みわ男塾・史跡探訪を振り返って

宇木郷土史会 小林 一三



10月7日（水）に、コロナ禍で延期になった史跡探訪が実施されました。幸い天候にも恵まれ2回目となる今回は返目区を探訪しました。返目と本郷の境界上の古道は、かつては桜並木が続き、一帯は三輪遺跡であり大型竪穴住居跡や多数の土器が出土しています。

長電の線路に沿って、旧北国街道を歩き返目神社に到着。祭神は誉田別命、社号額の返は浅川の乱流により条理的地割が出来なかったため、水田耕作には適さない土地であることを表しています。



返目神社の境内に祀られている養蚕神（石祠）について、相原先生より詳しく解説していただきました。古来より蚕と馬は深い関係がある事、中国の搜神記に馬と娘の悲恋が記されている事、東北地方の「おしらさま」の伝承、蚕の数え方は一頭二頭である事などを学びました。また現地には返目神社の八幡様と桐原牧神社の弁天様とのラブストーリーが残されています。

神社東を南流する牛爪川に架けられていた駒爪橋を見て弁天池へ向かいました。ここで参加者様より池内にホタルの生息が確認されていることを説明していただきました。以前は池尻脇に湧水していた牛爪清水が後に泉町区の町名になりました。それから延命地藏尊を押し往時は隆盛を極めた薬師堂跡を偲び、返目公民館前の道祖神、二十三夜塔、庚申塔を見学して史跡探訪を無事終了することができました。ご参加されました各位に改めまして深く感謝申し上げます。



あなたの声を届けませんか？

「コロナに負けない！応援メッセージ」を募集します！！

コロナ禍が長期化し、収束が見通せない中で、感染拡大防止のため日々奮闘されている方々や、不安やストレスを感じながらも懸命に頑張っているすべての方々へ、感謝とエールの気持ちを伝える「応援メッセージ」を募集します。

ぜひ、あなたの声を届けてください！！ 【詳しくは、この自治協だよりに挟んだチラシをご覧ください。】

これからの講座等のご案内（12月及び1月）

*変更になる場合があります。

12月 3日（木） 10:00~11:00	こどもと親の育ち合いサロン 三輪公民館 3階大ホール
12月 5日（土） 10:00~12:00	キッズふるさと体験（クリスマスリース作り） 三輪公民館 3階大ホール
12月10日（木） 9:30~11:00	オレンジカフェひまわり 三輪公民館 3階大ホール
12月21日（月） 10:00~13:00	料理講習会 三輪公民館 料理教室

1月 7日（木） 10:00~11:00	こどもと親の育ち合いサロン 三輪公民館 3階大ホール
1月14日（木） 9:30~11:00	オレンジカフェひまわり 三輪公民館 3階大ホール
1月19日（火） 14:00~15:00	ヒーリングコンサート 三輪公民館 3階大ホール

あなたの声を届けませんか？

「コロナに負けない！応援メッセージ」 募集！！

新型コロナウイルスの感染防止のため、日々最前線で奮闘されている方々や、
厳しい環境の中で頑張っているすべての方々を応援するメッセージを募集します。

✿ メッセージの対象

- 医療や介護などの従事者の皆さん
 - 事業者の皆さん
 - 職場や地域の仲間
 - 子どもたち
 - 学校の先生
 - 家庭の父母
- など、誰もが対象



✿ 受付期間

- 令和2年12月1日（月）～ 31日（木）

✿ 応募方法

- 「応援メッセージ記入用紙」に記入の上
 - ① 自治協あて郵送またはFAX
 - ② 自治協窓口にて持参
 - ③ 支所及び三輪公民館のホールに設置するメッセージBOXに投函

【記入用紙】

- ① このチラシの裏面を記入用紙として印刷
- ② 自治協ホームページからダウンロード
- ③ 自治協窓口でお渡し
- ④ 支所及び三輪公民館のホールに設置するメッセージBOX横に用意

頂いたメッセージは自治協ホームページやフェイスブック・「自治協だより」で紹介し、
三輪支所・三輪公民館のロビーなどに掲示します。

お問合せ先：三輪地区住民自治協議会事務局
TEL 225-9567

応援メッセージ記入用紙



🍀 メッセージを届けたい方【】

《例》医療（介護）従事者の皆様へ、事業者の皆様へ、子どもたちへ、
すべての皆様へなど

🍀 氏名（任意です）【】 *ペンネームも可能です

🍀 年代（任意です）【 10歳未満 ・ 歳代 】

🍀 職業（任意です）【】



🍀 記入用紙受付

- ① 三輪地区住民自治協議会あて
郵送（〒380-0803 長野市三輪4-15-1）
またはFAX（026-225-9647）
- ② 三輪地区住民自治協議会に持参（三輪公民館1階）
- ③ 三輪支所及び三輪公民館のホールに設置する
メッセージBOXに投函

